2023.03.19

MESSAGE NOTES

つながる

ヘブル人への手紙 10:24-25

ロイド フラハティ

1. つながっている　vs（対）　孤立している

ヘブル 10:24-25　また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。

愛情を感じる人々や、自分のことをよく理解してくれている人々に囲まれている時、私たちはつながりを感じます。一方、あまりよく知らなかったり、自分の存在すら認めてもらえないような人たちといる時には、孤立を感じます。

伝道者の書 4:9-10　ふたりはひとりよりもまさっている。ふたりが労苦すれば、良い報いがあるからだ。どちらかが倒れるとき、ひとりがその仲間を起こす。倒れても起こす者のいないひとりぼっちの人はかわいそうだ。

人とのつながりを感じられないでいるのは、辛くて寂しいものです。

2. つながるために助け合う

馴染みのない場所に行った時に、そのコミュニティーに馴染めるように導いてくれる人がいればとても嬉しいものです。

ヨハネの福音書 15:12-13　わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛は誰も持っていません。

イエス様は孤立している人々の橋渡しとなられました。取税人ザアカイはその一人で、イエス様は彼と時間を共有し、そのことで彼の人生は変えられました。（**ルカ** 19 : 1-10）

3. 互いに励まし合う

私たちは心を許し、食事を共にするようなつながりが必要です。イエス様にとって、マルタ、マリヤ、ラザロはそのような友人でした。
ヨハネの福音書 11 章で、イエス様はラザロを死からよみがえらされ、12 章 1-8 節では、彼らの家で食事をとられます。

まとめと適用：つながることは、私たちの霊的そして精神的な健康のために不可欠です。イエス様が私たちを愛してくださっているように私たちも互いに愛しあい、人々がお互いにつながり、さらに神様につながれるように助け合っていきましょう。